

平成29年度

文化芸術による子供の育成事業
ーコミュニケーション能力向上事業ー

＜学校申請方式＞

応募要領

平成29年5月

文部科学省初等中等教育局教育課程課

目 次

○ 応募要領＜学校申請方式＞	1
○ 申請様式等【様式1～様式4】	10
○ 申請様式等【記入例】	21
○ 旅費基準表	26

＜留意事項＞

本事業は、地域や学校の実情に応じ、効果的・多面的な事業展開が図られるよう、

- | |
|---|
| <p>I 学校が教育委員会等を経由して直接申請する実施方法
II 学校と芸術家とのコーディネート業務を行う団体（NPO法人等）の活用による実施方法</p> |
|---|

の2通りの方法による募集を行っており、本件はIに該当しますので、お間違いのないよう御留意ください。

また、IIの実施方法も別途行われているところですが、IとIIの実施方法の両方で同一の学校を選定することはできません。（Iにより決定を受けた学校を、IIにおいても選定することはできません。またその逆も不可。）

＜お問合せ先＞

平成29年度における本業務は、株式会社JTBコミュニケーションデザインに事務を委託して実施しています。事業全般、申請書類等に関するお問い合わせは下記にお願いします。

なお、都道府県・指定都市教育委員会及び都道府県私立学校担当部局に対して、本連絡と同日に電子メールにて貴課代表メールアドレス宛てに各種提出様式を送付しています。国立大学法人附属学校においては、希望がある場合、各種提出様式を送付しますので、株式会社JTBコミュニケーションデザイン宛てに件名を「芸術家派遣様式希望」としてメールを送付してください。

■都道府県等担当部局ご担当者 → お問合せ先：(株)JTBコミュニケーションデザイン

平成29年度における本業務は、株式会社JTBコミュニケーションデザインに事務を委託して実施しています。事業全般、申請書類等に関するお問い合わせは下記にお願いします。

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

ミーティング&コンベンション事業部 マーケティング局

（文化芸術による子供の育成事業コミュニケーション能力向上事業）担当宛

〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階

電話：080-5908-3493（10:00-18:00）

Email: kodomogeijutsu@jtbcom.co.jp

事業専用HP URL: <http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

■実施を希望する学校担当者 → お問合せ先：都道府県等担当部局

実施を希望する学校の担当者は、各都道府県等担当部局へお問い合わせください。

※問い合わせ先は、JTBコミュニケーションデザインではありませんのでご注意ください。

平成29年度「文化芸術による子供の育成事業—コミュニケーション
能力向上事業—」＜学校申請方式＞
応募要領

※応募に当たっての重要事項を記載しておりますので、必ず熟読してください。

1. 事業の趣旨

「文化芸術の振興に関する基本的な方針—文化芸術資源で未来をつくる—（第4次基本方針）」（平成27年5月22日閣議決定）においては、「全ての子供や若者が、学校や地域において本物の文化芸術に触れ、豊かな感性や創造性、コミュニケーション能力を育む機会を充実することにより、次代の文化芸術の担い手や鑑賞者を育むとともに、心豊かな子供や若者の育成を図る」ことを重点戦略に位置付けています。

このことを踏まえ、児童生徒に対し、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の指導を実施することにより、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うとともに、児童生徒のコミュニケーション能力の育成のために本事業を行います。

2. 対象

全国の国立、公立及び私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（以下「小・中・高等学校等」という。）

3. 事業内容

本事業を実施する小・中・高等学校等（以下、「実施校」という。）に対し、教育的手法に精通した芸術家を派遣し、実施校の担当教員と芸術家が連携を図り、児童生徒を対象に、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を取り入れた教育活動を支援します。

4. 実施方法

（1）分野等

- ・ 演劇（現代劇、ミュージカル、人形劇等）
- ・ ダンス・舞踊（ダンス、バレエ、現代舞踊、日本舞踊等）
- ・ 伝統芸能（能楽、人形浄瑠璃等）
- ・ 大衆芸能（落語、講談等）
- ・ 文学（俳句、朗読等）
- ・ メディア芸術（メディアアート、映画、アニメーション等）
- ・ 音楽（アンサンブル、声楽、パーカッション等）
- ・ 美術（彫刻、日本画、洋画、版画、写真等）
- ・ 生活文化（書道、華道、茶道等）
- ・ その他、事業の趣旨に沿った分野

(2) 実施回数

芸術家派遣による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実施回数は、1校当たり3～12回以内とします。ただし、同一の児童生徒に対して3回以上実施することとします。

(3) 講師等

1回当たりの講師（主指導者）は原則1名とし、補助者は最大5名までとします。ただし、複数の学級で同時に実施するために複数の講師が必要な場合は、必要に応じ、講師は最大5名まで、補助者は最大25名（講師1名に対する補助者は5名を超えないこと）までとすることができます。補助者だけの派遣はできません。

(4) 会場

原則、実施校の施設（教室、体育館等）とします。

ただし、複数の学校が合同で実施する場合や成果発表会等の実施など全校児童生徒等を収容するスペースがない場合等は、地域の文化施設等適切な場所を会場とすることができます。

(5) 実施期間

平成29年9月1日（金）から平成30年2月9日（金）まで

5. 留意事項

(1) 本事業の芸術家派遣は、コミュニケーション教育推進会議の審議経過報告「子どもたちのコミュニケーション教育を育むために～「話し合う・創る・表現する」ワークショップへの取組～」(平成23年8月29日)(URL:http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/08/1310607.htm)を踏まえた内容で実施していただくものとします。そのため、特に以下の点に留意してください。

- ① 実施校は、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実技指導を実施することとし、実施するワークショップ等には、次の要素を含めること。
 - ・ 児童生徒がグループ単位（小集団）で協働して正解のない課題に創造的・創作的に取り組む活動を中心とするワークショップ型の手法をとること。
 - ・ 芸術家の外部講師が授業に参画すること。また、児童生徒の成果発表を目的とせず手段として位置付け、創作やグループでの話し合い等といった活動の過程を重視し、「導入（準備）」「展開（実施）」「ふりかえり（定着）」という要素をもったワークショップ等のプログラムを意識的に組むこと。
- ② 以下のような取組にならないよう、児童生徒の参加型、双方向の授業形式を工夫すること。
 - ・ 鑑賞や一方的な講義形式のみになること
 - ・ 単純に児童生徒に振り付けをして踊らせたり、指示をして演じさせたりするだけのものになること
 - ・ 単に外部講師の用意した台本を上演するだけになること
 - ・ 発表会や演奏会等のための単なる技術指導のみになること
 - ・ 単に外部講師と児童生徒のやり取りなどの交流があるだけのものになること

(2) 芸術家に任せきりで、授業との連動性がない取組とならないよう、指導計画にきちんと位置付けるとともに、児童生徒の実態と乖離しないよう、芸術家と担当教員とが連携を図るようにしてください。

- (3) 国語，社会，音楽，体育等の教科や総合的な学習の時間など，教育課程上の授業時間に位置付けて実施することとします。（部活動や放課後等の教育課程外の時間に行う場合は対象となりません）
- (4) 実施校は，講師（主指導者）となる芸術家の内諾を得た上で申請してください。（教育委員会等の学校の設置者において内諾を得ることも可。）
- (5) 実施校は，公立学校にあっては都道府県・指定都市教育委員会，私立学校にあっては都道府県私立学校事務主管課，国立大学法人附属学校にあっては附属学校を置く国立大学法人（以下「都道府県・指定都市教育委員会等」という。）を経由して申請書類等の提出を行ってください。（なお，公立学校にあっては，学校の設置者が主体となって，域内の複数の学校において本事業に取り組ませることもできる。）
- (6) 学校の設置者は，本事業の運営全般について実施校に対し適切な指導助言を行ってください。
- (7) 文部科学省は，必要に応じて本事業の実施に係る資料の提出を求めることがあります。（なお，資料の内容や写真等については，事業普及等のために利用することがあるので，あらかじめ関係者に承諾を得ておいてください。）

6. 経費

国の負担経費	事業実施者側の負担経費
<ul style="list-style-type: none"> ・ 謝金 ・ 旅費 ・ 諸雑費（右記を除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場への移動が必要な場合の児童生徒の移動費 ・ 学校の施設設備の使用及び条件整備に係る経費（光熱水料，電気容量が不足する場合の電気工事等経費，ピアノ移動経費，暗幕設置経費等） ・ 文化施設を利用の際，使用に係る経費（会場借上料（付帯設備等含む）） ・ 諸雑費（お茶代等） ・ 国の基準単価を上回る経費等（詳細はウ②参照）

- ・ 「事業実施者側」とは，実施校や学校の設置者などを想定しています。
 - ・ 国の負担経費は，国が委託した株式会社 JTB コミュニケーションデザインから被派遣者（講師及び補助者）や債務者へ直接支払われます。
 - ・ 書類の作成は，学校の設置者の指導・助言の下，講師等の協力を得て，実施校の校長の責任で行ってください。
- ※ 「債務者」とは，物品・サービスを提供した業者等を指します。

ア 謝金

区分		単位	単価	1日当たりの上限
講師（主指導者謝金）		1人1日当たり	35,000円	35,000円
補助者	実技指導者	1人1時間当たり	5,100円	15,300円
	単純労務者	1人1時間当たり	1,040円	

※ 事業の実施に当たり，講師（主指導者）1名につき補助者は最大5名まで謝金を負担します。

複数の学級で同時に実施するために複数の講師が必要な場合は、講師は最大5名まで、補助者は最大25名（講師1名に対する補助者は5名を超えないこと）までとします。（予算及び申請の状況により、調整させていただく場合があります。）

- ※ 補助者だけの派遣はできません。
- ※ 同日に同一講師が時間ごとに異なる対象に指導を行う場合であっても、1日当たりの単価が上限となりますので御留意ください。
- ※ 補助者（実技指導者）の「1日当たりの上限」については、3時間分の金額を上限とします。
- ※ 謝金の額は「平成29年度文部科学省諸謝金単価基準」及び「平成29年度文化庁諸謝金単価基準」に基づくものです。

イ 旅費

講師の居住地から学校までの往復旅費（実施回数分支払）

補助者の居住地から学校までの往復旅費（原則、学校が所在する地域に居住する者とすること）（実施回数分支払）

- ※ 補助者については、原則、当該学校の所在する都道府県に在住する者とし、宿泊を必要としない距離までの旅費のみを計上することができます。なお、交通事情によっては近隣の都道府県も可とします。
- ※ 「単純労務者」は、原則として現地の方を想定しておりますので、旅費は計上できません。特に、旅費を支払う必要がある場合は、経費計画書（様式4-1）の備考欄に理由を記入してください。
- ※ 学校の設置者が主体となって、域内の複数の学校において本事業に取り組み、同一講師が連続して複数校に派遣される場合には、事業に支障をきたさない範囲で、最も経済的な経路により、旅費の算出を行ってください。（（例）自宅→A校→B校→C校→自宅）
- ※ 同日に複数回実施する場合には、実際の移動分の旅費のみを計上することができます。
- ※ 旅費の額は、国家公務員等の旅費に関する法律に基づき定めた基準により算出された金額の範囲内となります。各都道府県・政令指定都市において、【旅費基準表】（P.26～）に記載する内容に基づき、申請時に各学校から提出される被派遣者旅費計算書（様式4-2）を必ず精査した上で提出してください。旅費の計上に当たっては、講師・補助者とも行政職俸給表（一）の4級相当が基準となっております。

ウ 諸雑費

①支給の対象となる例

- ・ 事業の実施に係る消耗品などの教材費
 - ・ 楽器などを運搬する際に係る費用（居住地から学校まで）
 - ・ その他事業の実施に係る諸雑費
- ※ 対象となるのは、本事業実施に当たり直接必要となる経費です。

②対象とならない経費

具体的に次のようなものですが、記載のもの以外にも対象とならない経費があります。判断がしがたい経費については文部科学省において精査しますので、あらかじめ御了承ください。

- ・ 講師が所有する物のレンタル代
- ・ 講師が所有する物をメンテナンスする場合の費用
- ・ 講師が制作した教材に係る費用や制作に係る手数料
- ・ 通常、児童生徒が所有しているもの及び学校に備え付けられているもの
- ・ 児童生徒の移動に係る経費
- ・ ピアノ調律代
- ・ 備品購入費（事業終了後も継続して使用できる物を含む）

- ・ 飲食代，記念品代，花束代等，個人に受益があるもの
- ・ 体育館等の条件整備に係る経費（ピアノ移動費，暗幕設置費，電気容量が不足する場合の工事等経費など）
- ・ コピー用紙やその他の用紙，トナー等本事業に係る経費と通常の事務経費が明確に区別できないもの（ただし，コピー用紙やその他の用紙については，本事業のみに使用する数量（1冊や1箱など）で購入し，通常の事務経費と明確に区別できる場合は，対象経費として計上することができます。）
- ・ 計画書作成時に計上されていないもの

③上限額（1校当たりの経費の上限）

実施校における実施分 150,000円以内

※ 予算及び申請状況により調整させていただく場合があります。

7. 提出書類

申請時の提出書類等は以下のとおりです。提出書類は日本工業規格A列4判(片面)で作成してください。また，提出に当たっては，紙媒体（1部）及び電子媒体（ワード又はエクセルにて作成）双方を提出してください。

（1）申請時の提出書類

本事業の申請に当たっては，都道府県・指定都市教育委員会等において，実施希望校の提出書類（様式2-1，3-1，3-2，4-1及び4-2）を取りまとめの上，実施希望調書（集計表）（様式1）とあわせて，株式会社JTBコミュニケーションデザイン・ミーティング&コンベンション事業部マーケティング局（文化芸術による子供の育成事業コミュニケーション能力向上事業）担当宛に提出してください。

◇都道府県・指定都市教育委員会等が作成及び添付する書類

以下のアについて，都道府県・指定都市教育委員会等が実施希望を取りまとめ，作成してください。

ア 実施希望調書（総表）（様式1（都道府県・指定都市教育委員会等取りまとめ用））

◇実施希望校が作成する書類

以下のイ～カについては，実施希望校が作成し，都道府県・指定都市教育委員会等を経由して提出してください。

イ 実施希望調書（個別表）（様式2-1）

- ・ 「12. 想定している事業内容」には，計画の全体を通して実施を予定するワークショップ等について，主な内容を簡潔に記載してください。（記載に当たっては，講師（主指導者）とよく相談してください。）

ウ 講師（主指導者）略歴書（様式3-1）

- ・ 職業について，複数にわたる場合はすべて記載してください。（例：職業が大学教授であり，指揮者でもある場合など）
- ・ 本様式は，本事業の申請時に必ず提出してください。

エ 補助者に関する調書（様式3-2）

- ・ 本事業の申請段階で補助者が決まっていない場合は提出不要です。その場合に

は、実施日の前日もしくは平成29年9月29日（金）のいずれか早い日までに提出してください。

- ・ 職業について、複数にわたる場合はすべて記載してください。（例：職業が大学教授であり、指揮者でもある場合など）
- ・ 補助者が複数予定されている場合には、全員分を作成してください。

オ 経費計画書（様式4－1）

- ・ 「事業の実施に係る経費」についての根拠書類（見積書）を必ず添付してください。（カタログの写し等は不可）
- ・ 見積書の宛名は「JTBコミュニケーションデザイン」にしてください。
- ・ 実施日が未定であっても、仮で構いませんので、〇月〇日というように具体的な期日を御記入ください。

カ 被派遣者旅費計算書（様式4－2）

- ・ 被派遣者の人数に応じて、必要枚数を作成してください。（1人につき1枚作成）
- ・ バスを利用する場合は、バス運賃の根拠書類（運賃表、検索画面のコピー等）を添付してください。
- ・ 私事のための旅行と連続している場合、私事に関わる旅費は事業外経費となりますのでお支払いできません。

（2）採択決定後の提出書類

本事業が採択された後、都道府県・指定都市教育委員会等において、実施校の提出書類（様式2－2、様式3－2及び添付書類）を、各実施校ごとに、実施日の前日もしくは平成29年9月29日（金）のいずれか早い日までに提出してください。

◇実施希望校が作成及び添付する書類

以下のキ、エについては、実施希望校が作成し、都道府県・指定都市教育委員会等を經由して提出してください。（エについては、申請時に未提出の実施校のみ）

キ 実施内容調書（個別表）（様式2－2）

エ 補助者に関する調書（様式3－2）

[留意事項]

- ① 申請に当たっては、実施校が講師（主指導者）となる芸術家の内諾を得た上で申請書類への記載を行ってください（学校の設置者において内諾を得ることも可能です）。
- ② 講師（主指導者）は、学校教育における指導の一部を担うことに鑑み、教育的な効果や学校教育に対する理解、講師本人の経験などを総合的に勘案し、学校の設置者又は校長が適正と認める者としてします。
- ③ 講師（主指導者）となる芸術家と文部科学省初等中等教育局、業務委託事業者が直接連絡をとることは原則としてありませんので、実施校等と芸術家との間で十分に打合せ等を行ってください。
- ④ 実施希望調書等申請書類は返却できません。提出に当たっては十分御留意ください。

（3）実施内容の変更に係る提出書類

手続き及び様式については、実施校の決定後に別途御連絡します。

- ・ 事業実施決定以降に事業の中止、又は日程や補助者の変更が生じた場合は、実施校等において、実施日までに、所定の様式による変更の手続きが必要となります。

なお、所定の手続きが実施日までに行われなかった場合、その回に係る経費（謝金、旅費、実技指導に係る経費）を支払えず、実施者側の負担となることがあるので、御注意ください。

- ・ 講師（主指導者）の変更については原則として認められません。

（４）事業終了後の提出書類

事業終了後、実施校等は、以下のク及びケを作成し、都道府県・指定都市教育委員会等を経由して株式会社ＪＴＢコミュニケーションデザインへ提出していただきます。様式については、実施校の決定後に別途御連絡します。なお、経費の支払いは、原則として事業終了後とします。

ク 実施報告書及び実施状況報告書（様式未定）

- ・ 本事業の記録写真を添付していただきますので、適宜、記録写真を撮影しておいてください。
- ・ 実施報告書の内容や記録写真については、今後、文部科学省初等中等教育局の資料として使用させていただく場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

ケ 経費の請求に係る書類（様式未定）

- ・ 経費の請求に係る書類を数種類提出していただきます。

８．募集のスケジュール(予定)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ①平成２９年５月２日（火） | 実施校の募集の開始 |
| ②平成２９年６月６日（火） | 申請期限 |
| ③平成２９年６月中旬～下旬 | 実施校の審査 |
| ④平成２９年７月上旬 | 実施校の内定通知 |
| ⑤平成２９年７月上旬～７月下旬 | 内定校における経費の精査 |
| ⑥平成２９年８月上旬 | 実施校の決定通知 |
| ⑦平成２９年９月１日（金）～３０年２月９日（金） | 事業実施期間 |

９．申請時の提出書類に係る提出期限

平成２９年６月６日（火）【必着】

- ・ 様式１，様式２－１，様式３－１，様式３－２，様式４－１，様式４－２

※様式３－２については、申請段階で補助者が決まっていない場合は、事業実施が決定した後、平成２９年９月２９日（金）までに提出。

◇実施日の前日もしくは平成２９年９月２９日（金）のいずれか早い日までに提出する書類

- ・ 様式２－２、様式３－２

※様式３－２については、申請段階で未提出の実施校のみ。

※ 上記の提出期限は、都道府県・指定都市教育委員会等が、域内の申請を取りまとめ、株式会社ＪＴＢコミュニケーションデザインへ提出する期限であり、学校から都道府県等へ提出する期限については、都道府県・指定都市教育委員会等にお問い合わせください。

※ 講師との連絡調整や学校の準備状況等により、提出期限までに提出することが困難な場合には、実施希望校から学校の設置者に連絡し、学校の設置者からの取りまとめを行う都道府県・指定都市教育委員会等に報告を行ってください。報告を受けた都道府県・指定都市教育委員会等は、株式会社ＪＴＢコミュニケーションデザインにご相談ください。なお、提出期限までに提出することが困難な場合

であっても、実施希望調書（総表）（様式１）については、記入できる範囲で記入（ただし「実施希望校名」の欄は全て）し、提出期限までに御提出ください。

10. 申請書類提出及び問い合わせ先

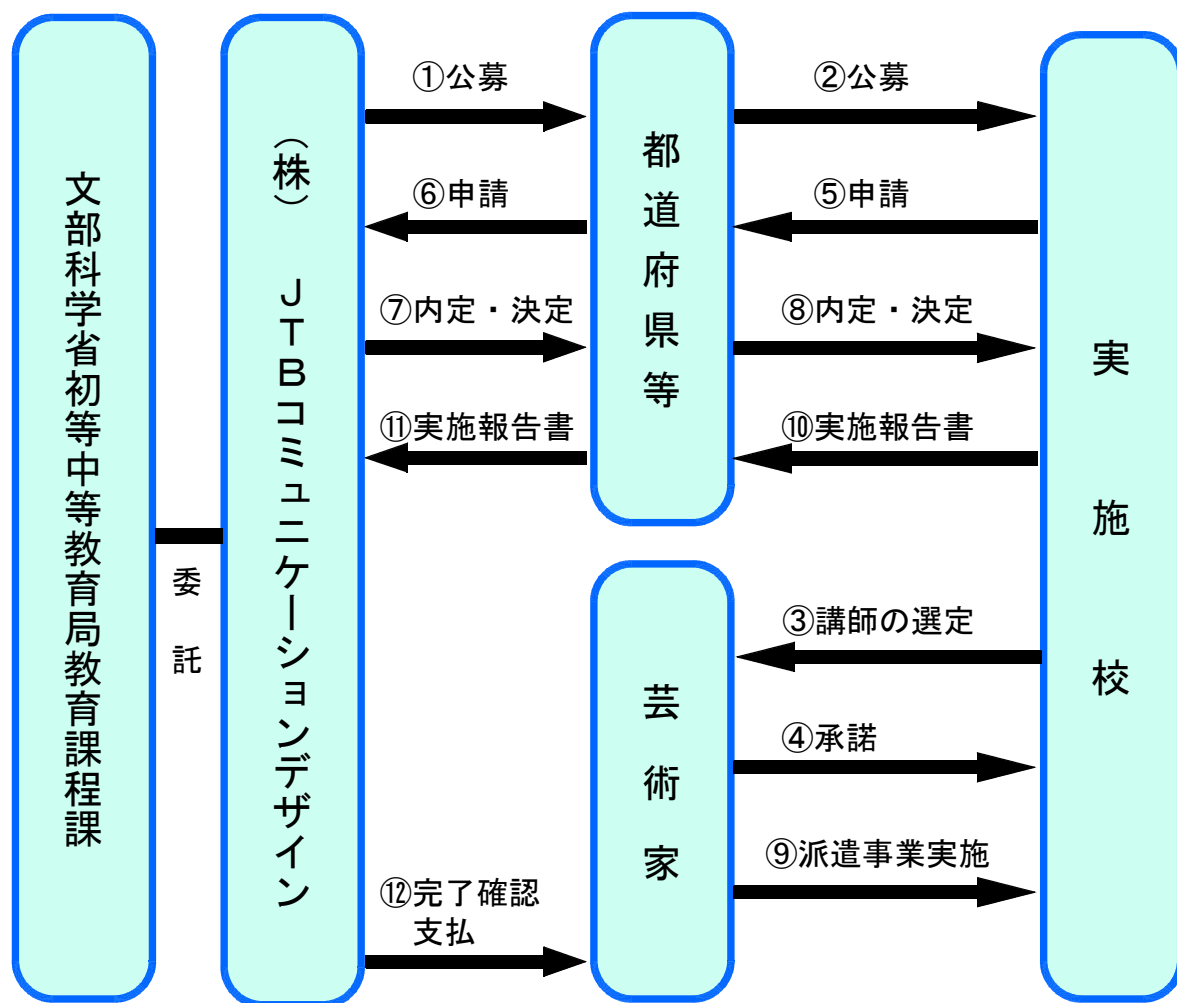
- ・実施希望校は、「都道府県・指定都市教育委員会等」に申請書類を提出してください。
- ・都道府県・指定都市教育委員会等は、実施希望校の申請を取りまとめ、以下の担当窓口にご提出ください。

■都道府県等担当部局ご担当者 → 提出先：(株)JTBコミュニケーションデザイン
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
ミーティング&コンベンション事業部 マーケティング局
(文化芸術による子供の育成事業コミュニケーション能力向上事業) 担当宛
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階
電話：080-5908-3493（10:00-18:00）
Email: kodomogeijutsu@jtbcom.co.jp
事業専用HP URL: <http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

■実施を希望する学校担当者 → 提出先：都道府県等担当部局
実施を希望する学校の担当者は、各都道府県等担当部局へお問い合わせください。
※問い合わせ先は、JTBコミュニケーションデザインではありませんのでご注意ください。

※書類提出先は、文部科学省初等中等教育局教育課程課ではありませんので、
お間違えのないようお願いします。

1 1. 事務手続きの流れ



(様式 1 (都道府県・指定都市教育委員会等取りまとめ用))

平成 2 9 年度
「文化芸術による子供の育成事業ーコミュニケーション能力向上事業ー」
実施希望調査 (総表)

推薦 校数	計 校		都道府県・指定都市名									
推薦 順位	新規／ 再起／ 継続	設置者	実施希望校名	実施回数	実施分野 (記号)	講師(主指導者)の 氏名(芸名・雅号)	補助者等 の予定人 数	講師(主指導者) の所属団体	謝金	旅費	事業の実施に 係る経費	計
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
計				0 回			0		0 円	0 円	0 円	0 円

※「推薦順位」欄には、推薦したい学校がある場合に順位を付すこと。(特になければ「ー」とすること。)

※「新規／再起／継続」欄には、平成 2 8 年度までの「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」を実施したことがない学校には「新規」、これまで実施したことはあるが平成 2 8 年度は実施していない学校には「再起」、平成 2 8 年度に引き続き実施を予定している学校には「継続」と記入すること。

※「設置者」欄には、国立の場合は「国」、公立の場合は「公」、私立の場合は「私」を記入すること。

※「実施回数」欄には、ワークショップの実施回数を記入すること。(成果発表等を行う場合は、実施回数に含めること。)

※「実施分野」欄には、様式 2-1 の別紙の分類表に掲げる記号を記入すること。(なお、「その他」については、その内容が分かるように記入すること。)

※「講師(主指導者)の氏名(芸名・雅号)」欄には、芸名や雅号などがある場合は括弧書きで記入すること。

※「補助者等の予定人数」欄には、申請段階での補助者等の予定人数を記入すること。

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。

担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-MAIL	

(様式 2 - 1)

整理番号 [/]
(都道府県・政令指定都市記入欄)

平成 2 9 年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
実施希望調書（個別表）

00. 都道府県・政令指定都市名

--

01. 実施希望校名

ふりがな

02. 学校長名

--

03. 担当者名

--

04. 実施校所在地

〒
TEL :
FAX :
E-mail :
最寄りの公共交通機関の駅又はバス停名

05. 予定会場

--

06. 全校児童生徒数

	名
--	---

07. 事業対象学年・人数（学級数）

年生	名	（	学級）
----	---	---	-----

08. 希望分野・実施予定時期（実施予定総回数）

分野（記号）：	時期：	（	回）
---------	-----	---	----

※ 「分野」欄には、別紙の分類表に掲げる記号を記入すること。

09. 講師依頼先予定

団体名：
講師氏名：
団体所在地：

10. 各回の講師・補助者（演奏者・実技指導者・単純労務者）予想人数（予想される最大人数を記入）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
講師	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
補助	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名

※ 経費計画書（様式4－1）の回数と一致すること。

11. 実施を希望する経緯

i) 学校の状況とその課題点、特筆すべき事柄

ii) 希望分野を選択した理由や目的 など

12. 想定している事業内容

i) 教育課程上の位置付けと実施形態（学級別、学年単位、全校単位 など）

ii) 想定しているプログラム（活動）の内容 など

13. 文化庁「文化芸術による子供の育成事業」（巡回公演事業・芸術家の派遣事業）への平成29年度応募状況

※ 様式の枠の大きさが不足する場合には、適宜調整すること。

「実施分野」分類表

該当する番号及び記号について、「実施分野」の欄に記入してください。

大項目		中項目		
1	演劇	A 現代劇	B ミュージカル	C 人形劇
		D その他		
2	ダンス・舞踊	A ダンス	B バレエ	C 現代舞踊
		D 日本舞踊	E その他	
3	伝統芸能	A 能楽	B 人形浄瑠璃	C その他
4	大衆芸能	A 落語	B 講談	C その他
5	文学	A 俳句	B 朗読	C その他
6	メディア芸術	A メディアアート	B 映画	C アニメーション
		D その他		
7	音楽	A アンサンブル	B 声楽	C パーカッション
		D その他		
8	美術	A 彫刻	B 日本画	C 洋画
		D 版画	E 写真	F その他
9	生活文化	A 書道	B 華道	C 茶道
		D その他		
10	その他			

※この用紙は提出不要です

(様式2-2)

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
実施内容調書

都道府県・指定都市名 () (/)

実施校名								実施回数	回					
講師所属・関係団体														
被派遣者の派遣回		※各派遣者の参加会の欄に、講師又は補助者種別(実技指導者／単純労務者)を選択して入力してください。												
被派遣者氏名		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	
第1回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :												
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間				特別活動		その他:				
	対象児童生徒	全校児童生徒		学年単位: 年		学級単位: 年 組		その他:						
	実施内容													
第2回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :												
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間				特別活動		その他:				
	対象児童生徒	全校児童生徒		学年単位: 年		学級単位: 年 組		その他:						
	実施内容													
第3回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :												
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間				特別活動		その他:				
	対象児童生徒	全校児童生徒		学年単位: 年		学級単位: 年 組		その他:						
	実施内容													

※本調書は、事業実施が決定した後、実施日の前日もしくは平成29年9月29日(金)のいずれか早い日までに都道府県・指定都市教育委員会等を通じて(株)JTBコミュニケーションデザインまで提出すること。

※派遣回の欄は、該当回のセルをクリックすると選択肢が表示されるので、講師／実技(実技指導者)／単労(単純労務者)のいずれかを選択すること。また、講師が各回に必ず派遣されるように位置付けること(補助者のみの回は不可)。

※成果発表会等を行う場合には、実施回数に含めること。

※講師及び補助者の人数が様式の枠を超える場合は、枠を追加して記入すること。

※「実施内容」には、計画の全体を通して実施を予定する活動等について、主な内容を簡潔に記載すること。

(記載に当たっては、講師とよく相談すること。)

※「教育課程」及び「対象児童生徒」欄は、該当するものに○を付け、「:」以下に教科名、学年、クラブ名等を記入すること。

※様式の枠内に収まらない場合は、別紙を作成し添付すること。

第4回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					
第5回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					
第6回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					
第7回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					
第8回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					
第9回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					
第10回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :				
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動	その他:
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組	その他:	
	実施内容					

(/)

第 1 1 回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :							
	教育課程	: 教科:		: 総合的な学習の時間		: 特別活動		: その他:	
	対象児童生徒	: 全校児童生徒		: 学年単位: 年		: 学級単位: 年 組		: その他:	
	実施内容								
第 1 2 回	実施日時	平成 年 月 日 () : ~ :							
	教育課程	: 教科:		: 総合的な学習の時間		: 特別活動		: その他:	
	対象児童生徒	: 全校児童生徒		: 学年単位: 年		: 学級単位: 年 組		: その他:	
	実施内容								

(様式3-1)

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
講師（主指導者） 略歴書

都道府県・指定都市名 _____
実施校名 _____

平成 年 月 日現在

ふりがな			
氏 名 (芸名・雅号)		性別	男・女
現 住 所	〒		
電話番号		専門分野	
職 業		所属・関係団体	
専 門 分 野 に 係 る 主 な 活 動 歴 ・ 賞 歴 等			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
主 な 活 動 実 績			

※ 本様式は、申請時に必ず提出すること。

(様式3-2)

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
補助者に関する調書

都道府県・指定都市名

実施校名

平成 年 月 日現在

補助者①	ふりがな				
	氏 名 (芸名・雅号)			性別	男・女
	職 業		専門分野		
	所属・関係団体				
補助者②	ふりがな				
	氏 名 (芸名・雅号)			性別	男・女
	職 業		専門分野		
	所属・関係団体				
補助者③	ふりがな				
	氏 名 (芸名・雅号)			性別	男・女
	職 業		専門分野		
	所属・関係団体				
補助者④	ふりがな				
	氏 名 (芸名・雅号)			性別	男・女
	職 業		専門分野		
	所属・関係団体				
補助者⑤	ふりがな				
	氏 名 (芸名・雅号)			性別	男・女
	職 業		専門分野		
	所属・関係団体				

※ 申請の段階で補助者が決まっていない場合は、申請時における本様式の提出は不要。その場合には、本事業が採択された後、実施日の前日もしくは平成29年9月29日(金)のいずれか早い日までに提出すること。

(様式4-1)

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
経費計画書

都道府県・指定都市名	
実施校名	

実施日	1回目	月	日	2回目	月	日	3回目	月	日	4回目	月	日
	5回目	月	日	6回目	月	日	7回目	月	日	8回目	月	日
	9回目	月	日	10回目	月	日	11回目	月	日	12回目	月	日

※ 実施日未確定の場合も、「月 日」欄に仮の開催予定日を記入すること。(例:「10月20日」)

【謝金】

回数	講師		補助者						
			実技指導者			単純労務者			
	35,000円／日		5,100円／時間			1,040円／時間			
	人数	小計	人数	時間	小計	人数	時間	小計	
1		0			0			0	
2		0			0			0	
3		0			0			0	
4		0			0			0	
5		0			0			0	
6		0			0			0	
7		0			0			0	
8		0			0			0	
9		0			0			0	
10		0			0			0	
11		0			0			0	
12		0			0			0	
延べ人数 ・時間	0		0	0		0	0		
講師計		0	実技指導者計			0	単純労務者計		0
謝金合計 (A)									0 円

※ 謝金の額は「平成29年度文部科学省諸謝金単価基準及び平成29年度文化庁謝金単価基準」に基づくものとする。

※ 各回における補助者の時間に1時間未満の端数がある場合、30分以上は1時間に切り上げて記入・計算し、30分未満は切り捨てて計上しないこと。

【旅費】

区分	積算	合計	備考
講師に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおりに)	円	
補助者に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおりに)	円	
旅費合計 (B)		0 円	

※ 様式4-2「被派遣者旅費計算書」を添付すること。

※ 「合計」欄には、予定している講師及び補助者について人数分作成した様式4-2「被派遣者旅費計算書」の総合計を記入すること。

【諸雑費】

項目	単価	数量(単位)	合計
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
事業の実施に係る経費合計 (C)			0 円

※ 諸雑費として物品等を購入する場合は、購入(予定)物品の状況が分かる根拠書類(見積書)を添付すること。

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。

総合計 (A+B+C)

0 円

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
被派遣者旅費計算書

		都道府県・指定都市名			
派遣先	学校名		所在地		最寄駅
被派遣者	氏名		出発地住所		最寄駅
	本名				
	芸名・雅号				

合 計 (a+b+c+d)
0 円

日付	曜	移動区間		交通機関名 ※航空機・JR・私鉄・船・バス等	距離 (km)	運賃 (乗車券)	特急・急行料金	交通費小計	車賃		日当	宿泊料	宿泊地	備考
		出発地	到着地						単価	小計				
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
			～					0						
合計								a 0		b 0	c 0	d 0		

- ※ 被派遣者の人数に応じて、必要枚数を作成すること。(1人につき1枚作成) また、記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- ※ バスを利用する場合は、バス運賃の根拠書類(運賃表、検索画面のコピー等)を添付すること。
- ※ 申請時において、実施日未確定の場合も、「日付」「曜日」欄に仮の予定期日を記入すること。(例:「10月20日」「金」)
- ※ 飛行機や船舶による移動における「出発地」と「到着地」の間の「距離」欄は記入を省略することができる。
- ※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、「被派遣者」の「氏名」欄に「補助者①」のように記入すること。
- ※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、講師(主指導者)となる芸術家と相談の上、補助者の派遣を依頼する可能性の高い法人又は団体等が所在する地域を起点とすること。

(様式 1 (都道府県・指定都市教育委員会等取りまとめ用))

記入例

平成 29 年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
実施希望調書 (総表)

推薦校数	計 ○ 校		都道府県・指定都市名 ○○県									
推薦順位	新規／再起／継続	設置者	実施希望校名	実施回数	実施分野 (記号)	講師 (主指導者) の氏名 (芸名・雅号)	補助者等の予定人数	講師 (主指導者) の所属団体	謝金	旅費	事業の実施に係る経費	計
1	継続	公	○○市立○○小学校	5 回	1-A	○○ ○○	2	○○県立劇場	225,660 円	297,020 円	10,000 円	532,680 円
2	新規	公	○○町立△△中学校	9 回	7-B	△△ △△	0	△△法人○○	315,000 円	130,200 円	0 円	445,200 円
3	継続	公	以下同様	回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
				回					円	円	円	0 円
計				14 回			2		540,660 円	427,220 円	10,000 円	977,880 円

※「推薦順位」欄には、推薦したい学校がある場合に順位を付すこと。(特にない場合は「-」とすること。)

※「新規／再起／継続」欄には、平成 28 年度までの「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」を実施したことがない学校には「新規」、これまで実施したことはあるが平成 28 年度は実施していない学校には「再起」、平成 28 年度に引き続き実施を予定している学校には「継続」と記入すること。

※「設置者」欄には、国立の場合は「国」、公立の場合は「公」、私立の場合は「私」を記入すること。

※「実施回数」欄には、ワークショップの実施回数を記入すること。(成果発表等を行う場合は、実施回数に含めること。)

※「実施分野」欄には、様式 2-1 の別紙の分類表に掲げる記号を記入すること。(なお、「その他」については、その内容が分かるように記入すること。)

※「講師 (主指導者) の氏名 (芸名・雅号)」欄には、芸名や雅号などがある場合は括弧書きで記入すること。

※「補助者等の予定人数」欄には、申請段階での補助者等の予定人数を記入すること。

※記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。

担当部課	○○課
担当者氏名	○○ △△
TEL	○○○○-○○-○○○○
FAX	○○○○-○○-○○○○
E-MAIL	*****@*****.jp

記入例

都道府県・指定都市名 (〇〇県)[illegible]

※様式の枠内に収まらない場合は、別紙を作成し添付すること

第4回	実施日時	平成 29 年 11 月 17 日 (金)				10:00	～	12:00
	教育課程	教科:		<input checked="" type="radio"/> 総合的な学習の時間	特別活動		その他:	
	対象児童生徒	全校児童生徒	<input checked="" type="radio"/> 学年単位: 6 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> ※ 講師とよく相談し、実施内容を簡潔に記載してください。 ※ 可能な限り内容が分かるよう記載してください。 </div>						
第5回	実施日時	平成 29 年 12 月 1 日 (金)				10:00	～	12:00
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	<input checked="" type="radio"/> 特別活動	その他:		
	対象児童生徒	全校児童生徒	<input checked="" type="radio"/> 学年単位: 6 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> ※ 講師とよく相談し、実施内容を簡潔に記載してください。 ※ 可能な限り内容が分かるよう記載してください。 </div>						
第6回	実施日時	平成 年 月 日 ()				:	～	:
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動		その他:	
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容							
第7回	実施日時	平成 年 月 日 ()				:	～	:
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動		その他:	
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容							
第8回	実施日時	平成 年 月 日 ()				:	～	:
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動		その他:	
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容							
第9回	実施日時	平成 年 月 日 ()				:	～	:
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動		その他:	
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容							
第10回	実施日時	平成 年 月 日 ()				:	～	:
	教育課程	教科:		総合的な学習の時間	特別活動		その他:	
	対象児童生徒	全校児童生徒	学年単位: 年	学級単位: 年 組		その他:		
	実施内容							

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業ーコミュニケーション能力向上事業ー」
経費計画書

※ 経費計画書(様式4-1)は、実施校が作成し、申請時に様式2~3とあわせてご提出ください。

都道府県・指定都市名	〇〇県
実施校名	〇〇市立〇〇小学校

実施日	1回目	9月19日	2回目	10月20日	3回目	10月20日	4回目	11月17日
	5回目	12月1日	6回目	月 日	7回目	月 日	8回目	月 日
	9回目	月 日	10回目	月 日	11回目	月 日	同日に2回(午前と午後)実施	

※ 実施日未確定の場合も、「月 日」欄に仮の開催予定日を記入すること。(例:「10月20日」)

【謝金】

回数	講師		補助者					
			実技指導者			単純労務者		
	35,000円/日		5,100円/時間			1,040円/時間		
	人数	小計	人数	時間	小計	人数	時間	小計
1	1	35,000			0	1	2	2,080
2	1	35,000	1	2	10,200			0
3		0	1	1	5,100			0
4	1	35,000	2	2	20,400			0
5	1	35,000	2	2	20,400	1	2	2,080
6		0			0			0
7		0			0			0
8		0			0			0
9		0			0			0
10		0			0			0
11		0			0			0
12		0			0			0
延べ人数・時間	4		6	7		2	4	
講師計		140,000	実技指導者計		56,100	単純労務者計		4,160
謝金合計(A)								200,260 円

※ 謝金の額は「平成29年度文部科学省諸謝金単価基準及び平成29年度文化庁謝金単価基準」に基づくものとする。

※ 各回における補助者の時間に1時間未満の端数がある場合、30分以上は1時間に切り上げて記入・計算し、30分未満は切り捨てて計上しないこと。

「合計」欄には様式4-2「被派遣者旅費計算書」の講師分合計・補助者分合計をそれぞれ入力してください

【旅費】

区分	積算	合計	備考
講師に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおりに)	111,280 円	
補助者に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおりに)	185,740 円	
旅費合計(B)		297,020 円	

※ 様式4-2「被派遣者旅費計算書」を添付すること。

※ 「合計」欄には、予定している講師及び補助者について人数分作成した様式4-2「被派遣者旅費計算書」の総合計を

単純労務者が交通費を申請する場合は、「備考」欄に理由を記入してください

【諸雑費】

項目	単価	数量(単位)	合計
機材運搬(△△市～〇〇市立〇〇小学校)	10,000 円	1 (回)	10,000 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
事業の実施に係る経費合計(C)			10,000 円

※ 諸雑費として物品等を購入する場合は、購入(予定)物品の状況が分かる根拠書類(見積書)を添付すること。

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。

総合計(A+B+C)

507,280 円

平成29年度
「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」
被派遣者旅費計算書

		都道府県・指定都市名		〇〇県
派遣先	学校名		所在地	最寄駅
	〇〇市立〇〇小学校		〇〇市〇〇 1-2-3	〇〇交通 〇〇バス停
被派遣者	氏名		出発地住所	最寄駅
	本名	〇〇 〇〇	△△市△△ 3-2-1	△△鉄道 △△駅
	芸名・雅号	●● ●●		

合 計 (a+b+c+d)
111,280 円

日付	曜	移動区間		交通機関名 ※航空機・JR・私鉄・船・バス等	距離 (km)	運賃 (乗車券)	特急・急行 料金	交通費 小計	車賃		日当	宿泊料	宿泊地	備考
		出発地	到着地						単価	小計				
9月19日	火	△△	～ □□	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090			2,200			
		□□	～ 〇〇	〇〇交通	5.0	220		220						
		〇〇	～ □□	〇〇交通	5.0	220		220						
		□□	～ △△	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090						
10月20日	金	△△	～ □□	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090			2,200	9,800	〇〇市	
10月20日	金	□□	～ 〇〇	〇〇交通	5.0	220		220			2,200			
		〇〇	～ □□	〇〇交通	5.0	220		220						
		□□	～ △△	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090						
11月17日	金	△△	～ □□	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090			2,200			
		□□	～ 〇〇	〇〇交通	5.0	220		220						
		〇〇	～ □□	〇〇交通	5.0	220		220						
		□□	～ △△	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090						
12月1日	金	△△	～ □□	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090			2,200			
		□□	～ 〇〇	〇〇交通	5.0	220		220						
		〇〇	～ □□	〇〇交通	5.0	220		220						
		□□	～ △△	△△鉄道	366.0	6,260	4,830	11,090						
		～						0						
合 計									a	b	c	d		
									90,480	0	11,000	9,800		

バス代は車賃ではなく、運賃(乗車券)欄に記入してください

- 国家公務員等の旅費に関する法律に基づき定めた基準により算出された金額の範囲内となります。応募要領【旅費基準表】(P.26～)に記載する内容に基づき算出してください。
ただし、日当を減額することなく、旅費計算の起点は講師・補助者の現住所最寄りの交通機関としていただくようお願いします。
- 必要に応じて行を追加してください。

※ 被派遣者の人数に応じて、必要枚数を作成すること。(1人につき1枚作成) また、記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。
※ バスを利用する場合は、バス運賃の根拠書類(運賃表、検索画面のコピー等)を添付すること。
※ 申請時において、実施日未確定の場合も、「日付」「曜日」欄に仮の予定期日を記入すること。(例:「10月20日」「金」)
※ 飛行機や船舶による移動における「出発地」と「到着地」の間の「距離」欄は記入を省略することができる。
※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、「被派遣者」の「氏名」欄に「補助者①」のように記入すること。
※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、講師(主指導者)となる芸術家と相談の上、補助者の派遣を依頼する可能性の高い法人又は団体等が所在する地域を起点とすること。

旅費基準表

旅費項目		金額、基準	備考
車賃	1km当たり	37円	全路程を通算し、1km未満の端数は切り捨てます
宿泊料 (1夜につき)	甲地方	10,900円	さいたま市、千葉市、東京特別区、横浜市、川崎市、相模原市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市
	乙地方	9,800円	甲地方以外
日当	A	2,200円	B以外の場合
	B	1,100円	・鉄道100km未満、水路50km未満又は陸路25km未満の旅行の場合 ・鉄道、水路又は陸路にわたる場合は、鉄道4km、水路2kmをそれぞれ陸路1kmとみなします
鉄道料金	急行料金	特急列車：片道100km以上 急行列車：片道50km以上	特急列車は、片道100km未満であっても、次の場合には利用できるものとします ① 【別紙(P27～P30)】の区間 (途中駅で乗下車する場合を除く) ② ①以外の区間で特急列車を利用することで、日程が短縮でき経済的な旅程になると認められる場合
	座席指定料金	特急列車又は急行列車を利用する場合で、片道100km以上	片道100km未満であっても、特急列車で【別紙(P27～P30)】の区間(途中駅で乗下車する場合を除く)を利用する場合は、座席指定料金を認めるものとします
航空費		航空機の利用が最も経済的な通常の経路及び方法によると認められる場合	
高速料金		高速道路の利用が最も経済的な通常の経路及び方法によると認められる場合	

※上記にない項目については、(株)JTBコミュニケーションデザインへお問い合わせください

- (注1) 事業決定時からの変更が発覚した場合は、それに関わる部分の旅費(日当を含む)が一切お支払できません
- (注2) 私事のための旅行と連続している場合、私事に関わる旅費は事業外経費となりますのでお支払いできません
- (注3) 航空機を利用する場合は、事業終了後に「領収証」及び「搭乗券」の提出が必要となります
- (注4) 特急・急行列車を利用する場合は、事業終了後に「領収証」の提出が必要となります
- (注5) 高速道路を利用する場合は、事業終了後に「領収証」または「ETC利用証明書」の提出が必要となります
- (注6) 航空機を利用する場合は原則として、割引航空券又はパック商品(宿泊を伴う場合)を利用するものとします
- (注7) グリーン車やクラスJ等のグレードアップ分はお支払いできません

【別紙】片道100km未満の特例区間（特別急行料金及び特別急行列車座席指定料金の特例対象区間）

	区 間		区 間		区 間
1	函館 ～ 八雲	51	くりこま高原 ～ 北上	101	鶴岡 ～ 村上
2	新函館北斗 ～ 八雲	52	くりこま高原 ～ 新花巻	102	東京 ～ 小田原
3	新函館北斗 ～ 長万部	53	一ノ関 ～ 新花巻	103	東京 ～ 湯河原
4	八雲 ～ 洞爺	54	一ノ関 ～ 盛岡	104	東京 ～ 大月
5	八雲 ～ 伊達紋別	55	水沢江刺 ～ 盛岡	105	東京 ～ 小山
6	札幌 ～ 美唄	56	盛岡 ～ 二戸	106	東京 ～ 熊谷
7	札幌 ～ 砂川	57	盛岡 ～ 八戸	107	東京 ～ 本庄早稲田
8	札幌 ～ 滝川	58	盛岡 ～ 大曲	108	東京 ～ 石岡
9	札幌 ～ 白老	59	盛岡 ～ 角館	109	東京 ～ 八街
10	札幌 ～ 苫小牧	60	二戸 ～ 七戸十和田	110	東京 ～ 成東
11	札幌 ～ 追分	61	八戸 ～ 新青森	111	東京 ～ 横芝
12	札幌 ～ 新夕張	62	七戸十和田 ～ 奥津軽いまべつ	112	東京 ～ 八日市場
13	岩見沢 ～ 深川	63	青森 ～ 鷹ノ巣	113	東京 ～ 茂原
14	岩見沢 ～ 旭川	64	青森 ～ 大館	114	東京 ～ 上総一ノ宮
15	美唄 ～ 旭川	65	米沢 ～ 村山	115	東京 ～ 大原
16	砂川 ～ 旭川	66	赤湯 ～ 村山	116	東京 ～ 君津
17	滝川 ～ 旭川	67	赤湯 ～ 新庄	117	東京 ～ 木更津
18	旭川 ～ 白滝	68	山形 ～ 新庄	118	霞ヶ関 ～ 箱根湯本
19	旭川 ～ 土別	69	大曲 ～ 秋田	119	品川 ～ 小田原
20	旭川 ～ 名寄	70	大曲 ～ 雫石	120	品川 ～ 熱海
21	旭川 ～ 美深	71	秋田 ～ 東能代	121	品川 ～ 石岡
22	伊達紋別 ～ 苫小牧	72	秋田 ～ 鷹ノ巣	122	新横浜 ～ 熱海
23	東室蘭 ～ 苫小牧	73	秋田 ～ 象潟	123	新横浜 ～ 三島
24	東室蘭 ～ 南千歳	74	秋田 ～ 仁賀保	124	小田原 ～ 新富士
25	幌別 ～ 南千歳	75	秋田 ～ 田沢湖	125	小田原 ～ 静岡
26	登別 ～ 南千歳	76	秋田 ～ 角館	126	熱海 ～ 静岡
27	南千歳 ～ 占冠	77	八郎潟 ～ 鷹ノ巣	127	熱海 ～ 伊豆急下田
28	新札幌 ～ 新夕張	78	東能代 ～ 弘前	128	池袋 ～ 西武秩父
29	新得 ～ 池田	79	大館 ～ 新青森	129	新宿 ～ 大月
30	遠軽 ～ 北見	80	羽後本荘 ～ 鶴岡	130	新宿 ～ 箱根湯本
31	遠軽 ～ 美幌	81	羽後本荘 ～ 余目	131	三鷹 ～ 大月
32	北見 ～ 網走	82	羽後本荘 ～ 酒田	132	三鷹 ～ 塩山
33	名寄 ～ 音威子府	83	越後湯沢 ～ 長岡	133	三鷹 ～ 山梨市
34	幌延 ～ 南稚内	84	越後湯沢 ～ 燕三条	134	立川 ～ 塩山
35	幌延 ～ 稚内	85	越後湯沢 ～ 高崎	135	立川 ～ 山梨市
36	郡山 ～ 白石蔵王	86	浦佐 ～ 燕三条	136	立川 ～ 石和温泉
37	郡山 ～ 米沢	87	浦佐 ～ 上毛高原	137	立川 ～ 甲府
38	郡山 ～ 那須塩原	88	新井 ～ 柏崎	138	八王子 ～ 塩山
39	福島 ～ 仙台	89	新井 ～ 長岡	139	八王子 ～ 山梨市
40	福島 ～ 赤湯	90	上越妙高 ～ 長岡	140	八王子 ～ 石和温泉
41	福島 ～ かみのやま温泉	91	上越妙高 ～ 見附	141	八王子 ～ 甲府
42	福島 ～ 山形	92	上越妙高 ～ 黒部宇奈月温泉	142	八王子 ～ 竜王
43	福島 ～ 新白河	93	上越妙高 ～ 上田	143	八王子 ～ 韮崎
44	仙台 ～ くりこま高原	94	上越妙高 ～ 長野	144	上野原 ～ 甲府
45	仙台 ～ 一ノ関	95	直江津 ～ 長岡	145	大月 ～ 韮崎
46	仙台 ～ 浪江	96	直江津 ～ 見附	146	大月 ～ 小淵沢
47	古川 ～ 一ノ関	97	直江津 ～ 東三条	147	塩山 ～ 上諏訪
48	古川 ～ 水沢江刺	98	長岡 ～ 新潟	148	石和温泉 ～ 上諏訪
49	古川 ～ 北上	99	新潟 ～ 村上	149	甲府 ～ 富士
50	くりこま高原 ～ 水沢江刺	100	坂町 ～ 鶴岡	150	甲府 ～ 岡谷

151	甲府	～	塩尻	201	館山	～	木更津	251	松本	～	長野
152	甲府	～	富士宮	202	館山	～	五井	252	安中榛名	～	上田
153	甲府	～	内船	203	館山	～	海浜幕張	253	安中榛名	～	長野
154	韭崎	～	松本	204	館山	～	蘇我	254	佐久平	～	長野
155	上野	～	小山	205	富浦	～	五井	255	佐久平	～	飯山
156	上野	～	石岡	206	富浦	～	海浜幕張	256	上田	～	飯山
157	東武動物公園	～	新桐生	207	富浦	～	蘇我	257	京都	～	日根野
158	大宮	～	宇都宮	208	岩井	～	海浜幕張	258	京都	～	関西空港
159	大宮	～	本庄早稲田	209	保田	～	海浜幕張	259	京都	～	綾部
160	大宮	～	高崎	210	浜金谷	～	海浜幕張	260	京都	～	福知山
161	大宮	～	新前橋	211	三島	～	静岡	261	京都	～	西舞鶴
162	大宮	～	前橋	212	新富士	～	掛川	262	新大阪	～	西明石
163	大宮	～	安中榛名	213	静岡	～	浜松	263	新大阪	～	姫路
164	小山	～	那須塩原	214	豊橋	～	名古屋	264	新大阪	～	海南
165	熊谷	～	軽井沢	215	豊橋	～	水窪	265	新大阪	～	和歌山
166	熊谷	～	安中榛名	216	豊橋	～	中部天竜	266	大阪	～	柏原
167	熊谷	～	佐久平	217	名古屋	～	米原	267	尼崎	～	柏原
168	本庄早稲田	～	軽井沢	218	名古屋	～	白川口	268	姫路	～	岡山
169	本庄早稲田	～	佐久平	219	名古屋	～	飛騨金山	269	姫路	～	和田山
170	高崎	～	長野原草津口	220	岐阜	～	下呂	270	姫路	～	八鹿
171	高崎	～	佐久平	221	岐阜	～	飛騨萩原	271	姫路	～	江原
172	高崎	～	上田	222	米原	～	武生	272	姫路	～	豊岡
173	北千住	～	足利市	223	米原	～	鯖江	273	姫路	～	竹田
174	北千住	～	太田	224	米原	～	福井	274	相生	～	岡山
175	浅草	～	太田	225	米原	～	京都	275	上郡	～	鳥取
176	柏	～	友部	226	高山	～	富山	276	岡山	～	福山
177	柏	～	水戸	227	長浜	～	福井	277	岡山	～	新尾道
178	柏	～	勝田	228	敦賀	～	芦原温泉	278	岡山	～	新見
179	水戸	～	いわき	229	敦賀	～	京都	279	岡山	～	多度津
180	いわき	～	相馬	230	武生	～	小松	280	岡山	～	観音寺
181	軽井沢	～	長野	231	武生	～	金沢	281	岡山	～	川之江
182	錦糸町	～	成東	232	鯖江	～	金沢	282	岡山	～	伊予三島
183	錦糸町	～	横芝	233	福井	～	松任	283	岡山	～	善通寺
184	錦糸町	～	八日市場	234	福井	～	金沢	284	岡山	～	琴平
185	錦糸町	～	旭	235	芦原温泉	～	金沢	285	岡山	～	阿波池田
186	錦糸町	～	佐原	236	小松	～	七尾	286	岡山	～	三原
187	千葉	～	八日市場	237	金沢	～	富山	287	岡山	～	大原
188	千葉	～	旭	238	金沢	～	黒部宇奈月温泉	288	倉敷	～	新見
189	千葉	～	銚子	239	金沢	～	七尾	289	新倉敷	～	新尾道
190	大網	～	安房鴨川	240	金沢	～	和倉温泉	290	新倉敷	～	三原
191	大原	～	海浜幕張	241	新高岡	～	黒部宇奈月温泉	291	福山	～	東広島
192	大原	～	蘇我	242	新高岡	～	糸魚川	292	新尾道	～	広島
193	御宿	～	海浜幕張	243	富山	～	糸魚川	293	宝塚	～	柏原
194	勝浦	～	海浜幕張	244	糸魚川	～	長野	294	宝塚	～	福知山
195	勝浦	～	蘇我	245	糸魚川	～	飯山	295	三田	～	福知山
196	上総興津	～	海浜幕張	246	上諏訪	～	信濃大町	296	新見	～	米子
197	上総興津	～	蘇我	247	塩尻	～	中津川	297	津	～	鶴方
198	安房小湊	～	海浜幕張	248	塩尻	～	長野	298	津	～	名張
199	安房小湊	～	蘇我	249	木曽福島	～	多治見	299	松阪	～	紀伊長島
200	安房鴨川	～	蘇我	250	松本	～	篠ノ井	300	松阪	～	尾鷲

301	多気	～	尾鷲	351	高松	～	池谷	401	小倉	～	新鳥栖
302	新宮	～	白浜	352	高松	～	徳島	402	小倉	～	中津
303	紀伊勝浦	～	白浜	353	高松	～	阿南	403	小倉	～	柳ヶ浦
304	紀伊勝浦	～	紀伊田辺	354	高松	～	勝瑞	404	小倉	～	宇佐
305	串本	～	白浜	355	坂出	～	川之江	405	小倉	～	杵築
306	串本	～	紀伊田辺	356	坂出	～	伊予三島	406	折尾	～	中津
307	白浜	～	御坊	357	坂出	～	新居浜	407	香椎	～	行橋
308	白浜	～	海南	358	坂出	～	阿波池田	408	博多	～	筑後船小屋
309	紀伊田辺	～	海南	359	宇多津	～	阿波池田	409	博多	～	荒尾
310	紀伊田辺	～	和歌山	360	丸亀	～	新居浜	410	博多	～	新玉名
311	南部	～	和歌山	361	丸亀	～	壬生川	411	博多	～	佐賀
312	湯浅	～	天王寺	362	多度津	～	新居浜	412	博多	～	肥前山口
313	藤並	～	天王寺	363	観音寺	～	今治	413	博多	～	肥前鹿島
314	海南	～	天王寺	364	川之江	～	今治	414	博多	～	武雄温泉
315	和歌山	～	天王寺	365	伊予三島	～	今治	415	博多	～	有田
316	二条	～	綾部	366	新居浜	～	伊予北条	416	博多	～	行橋
317	二条	～	福知山	367	新居浜	～	松山	417	博多	～	日田
318	二条	～	東舞鶴	368	伊予西条	～	松山	418	博多	～	天ヶ瀬
319	二条	～	西舞鶴	369	壬生川	～	松山	419	鳥栖	～	武雄温泉
320	亀岡	～	綾部	370	今治	～	伊予大洲	420	鳥栖	～	早岐
321	亀岡	～	福知山	371	松山	～	八幡浜	421	鳥栖	～	佐世保
322	亀岡	～	東舞鶴	372	松山	～	卯之町	422	久留米	～	熊本
323	亀岡	～	西舞鶴	373	松山	～	宇和島	423	久留米	～	天ヶ瀬
324	亀岡	～	宮津	374	伊予市	～	宇和島	424	久留米	～	豊後森
325	園部	～	福知山	375	阿波池田	～	後免	425	久留米	～	由布院
326	園部	～	東舞鶴	376	阿波池田	～	高知	426	筑後船小屋	～	熊本
327	園部	～	西舞鶴	377	阿波池田	～	徳島	427	筑後船小屋	～	新八代
328	園部	～	宮津	378	阿波池田	～	阿波川島	428	新玉名	～	新鳥栖
329	綾部	～	城崎温泉	379	土佐山田	～	須崎	429	熊本	～	新水俣
330	福知山	～	豊岡	380	後免	～	須崎	430	熊本	～	出水
331	福知山	～	城崎温泉	381	高知	～	土佐久礼	431	熊本	～	新鳥栖
332	福知山	～	網野	382	高知	～	窪川	432	熊本	～	宮地
333	福知山	～	峰山	383	須崎	～	中村	433	熊本	～	豊後竹田
334	鳥取	～	伯耆大山	384	栗林	～	池谷	434	新八代	～	出水
335	鳥取	～	米子	385	栗林	～	徳島	435	新八代	～	川内
336	倉吉	～	松江	386	栗林	～	勝瑞	436	新水俣	～	鹿児島中央
337	米子	～	鳥取大学前	387	屋島	～	池谷	437	出水	～	鹿児島中央
338	松江	～	大田市	388	屋島	～	徳島	438	鹿児島中央	～	都城
339	出雲市	～	江津	389	志度	～	徳島	439	鹿児島中央	～	西都城
340	出雲市	～	浜田	390	徳島	～	日和佐	440	鹿児島	～	西都城
341	大田市	～	浜田	391	徳島	～	牟岐	441	新鳥栖	～	諫早
342	大田市	～	益田	392	三原	～	広島	442	新鳥栖	～	武雄温泉
343	益田	～	新山口	393	広島	～	徳山	443	新鳥栖	～	早岐
344	児島	～	伊予三島	394	新岩国	～	新山口	444	新鳥栖	～	佐世保
345	高松	～	観音寺	395	徳山	～	厚狭	445	佐賀	～	諫早
346	高松	～	川之江	396	新山口	～	新下関	446	佐賀	～	浦上
347	高松	～	伊予三島	397	新山口	～	津和野	447	佐賀	～	早岐
348	高松	～	阿波池田	398	新山口	～	小倉	448	佐賀	～	佐世保
349	高松	～	大歩危	399	新下関	～	博多	449	肥前山口	～	諫早
350	高松	～	板野	400	小倉	～	博多	450	肥前山口	～	長崎

451	肥前鹿島	～	長崎
452	中津	～	別府
453	中津	～	大分
454	柳ヶ浦	～	別府
455	柳ヶ浦	～	大分
456	宇佐	～	大分
457	別府	～	佐伯
458	大分	～	佐伯
459	大分	～	日田
460	大分	～	天ヶ瀬
461	大分	～	豊後森
462	大分	～	宮地
463	大分	～	豊後竹田
464	津久見	～	日向市
465	佐伯	～	延岡
466	佐伯	～	日向市
467	延岡	～	宮崎
468	延岡	～	南宮崎
469	延岡	～	宮崎空港
470	南延岡	～	宮崎
471	南延岡	～	南宮崎
472	南延岡	～	宮崎空港
473	日向市	～	宮崎
474	日向市	～	南宮崎
475	日向市	～	宮崎空港
476	宮崎	～	都城
477	宮崎	～	西都城
478	南宮崎	～	国分
479	新水前寺	～	豊後竹田
480	宮地	～	三重町
481	下今市	～	春日部